

# 令和2年度 事業報告書



緑区社協マスコットキャラクター にじな

社会福祉法人名古屋市緑区社会福祉協議会

## 令和2年度 事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの事業が中止せざるを得ない状況となる中、コロナ禍の折でもできる工夫と感染対策を施し、以下の事業に取り組みました。

地域福祉推進事業では、住民主体の地域福祉活動の中核となる、学区地域福祉推進協議会に対する支援を引き続き行い、特に従来の会食形式ができない高齢者ふれあい給食事業では学区の方々と相談しながら新しい給食会形式を実施するなど、できる範囲での活動に取り組んでいただきました。

高齢者等の困りごとを地域の相談窓口で受け付け、ご近所ボランティアにより支援することで、住民どうしの助けあい意識の向上や地域における支えあいの輪の広がりを進めていく「地域支えあい事業」については、鳴子学区、長根台学区、戸笠学区、平子学区、黒石学区の5学区で事業に取り組んでいただいておりますが、今後も取り組み学区の拡大に向け、働きかけを続けて参ります。

65歳以上の方々を対象に、区内16か所で実施し、講座やレクリエーションなどを通じ、健康増進や介護予防の普及・啓発、仲間づくりに努める高齢者はつらつ長寿推進事業（はつらつクラブ）については、事業の中止期間中にもお便りを送り、健康体操・脳トレなどの家でできることの提案を行うとともに、安否確認にも努めてまいりました。

ボランティア活動においては、感染防止の啓発を行いつつ、区内のボランティアができる範囲での相談・調整を行うなど、緑区ボランティア連絡協議会（ボラネットみどり）をはじめとしたボランティア団体の活動支援を引き続き行いました。

指定管理者として管理・運営を行っている名古屋市緑福祉会館・児童館においては、コンソーシアムを組んでいる「特定非営利活動法人こどもNPO」と引き続き協力し、生きがづくり、居場所づくりの事業に取り組んでまいりました。

緑区介護保険事業所については、インフォーマルサービスの活用によるサービスの向上を目指し、区社協職員やいきいき支援センター職員と情報交換などを行い、部門間連携を進めました。また、緑区介護保険事業所連絡会に参加し、他事業所とも連携を深めるよう努めました。

緑区北部いきいき支援センターについては、総合相談や介護予防の啓発、介護支援専門員への支援、認知症の人やそのご家族への支援、そして緑区における地域包括ケアの推進などに取り組みました。また社会福祉士・主任介護支援専門員・保健師等の3職種の職員間の連携はもとより、区社会福祉協議会をはじめ関係機関と連携をとりながら着実に事業を実施してまいりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者はつらつ長寿推進事業ならびに緑福祉会館の事業を一時中止させていただきました。

# 1 会議

## (1) 理事会・評議員会

事 項	開催年月日	開催場所	内 容
第 1 回 理 事 会	R2. 6. 25	緑区在宅サービス センター研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告書（案）について</li> <li>・令和元年度決算書（案）について</li> <li>・理事の一部改選に伴う候補者（案）について</li> <li>・評議員の一部改選に伴う候補者（案）について</li> <li>・評議員選任解任委員会委員の改選に伴う次期委員の選任について</li> <li>・顧問の委嘱について</li> <li>・補助事業評価委員会規程の一部改正について</li> <li>・定時評議員会の招集について</li> <li>・名古屋市緑区福祉会館の管理業務に関する協定書の締結について</li> <li>・名古屋市緑区福祉会館認知症予防事業委託契約書の締結について</li> <li>・会長の職務執行状況について</li> </ul>
第 1 回 評議員会	R2. 7. 16	緑区役所講堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告書（案）について</li> <li>・令和元年度決算（案）について</li> <li>・理事の一部改選について</li> </ul>
第1回 みなし 決議 理事会	R3. 2. 4	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員就業規則の一部改正(案)について</li> <li>・嘱託職員就業規則の一部改正(案)について</li> <li>・専門職員就業規則の一部改正(案)について</li> <li>・臨時職員就業規則の一部改正(案)について</li> </ul>
第2回 みなし 決議 理事会	R3. 3. 5	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の招集について</li> </ul>
第 2 回 理 事 会	R3. 3. 22	緑区在宅サービス センター研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業計画（案）について</li> <li>・令和3年度資金収支予算（案）について</li> <li>・諸規程の一部改正について</li> <li>・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる契約の締結について</li> </ul>
第 2 回 評議員会	R3. 3. 23	JA みどり本店 4階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業計画（案）について</li> <li>・令和3年度収支予算（案）について</li> <li>・諸規程の一部改正について</li> <li>・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる契約の締結について</li> </ul>

(2) 評議員選任解任委員会

事 項	開催年月日	開催場所	内 容
第9回評議員 選任解任委員会	R2. 6. 3	緑区在宅サービス センター研修室	評議員候補者の選任の賛否について
第10回評議員 選任解任委員会	R2. 6. 30	緑区在宅サービス センター 点訳室	評議員候補者の選任の賛否について

(3) 第4次地域福祉活動計画関係

事 項	時 期	開催場所	内 容
ワーキンググループ	—	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、未開催

(4) 地域福祉活動の推進関係

事 項	時 期	開催場所	内 容
第1回 補助事業 評価委員会	R2. 10. 21	緑区在宅サービス センター研修室	・令和2年度共同募金配分金助成事業の申請内容の 審査・決定
第2回 補助事業 評価委員会	R2. 12. 11	緑区在宅サービス センター研修室	・令和2年度「ははの箱事業」助成の申請内容の 審査・決定 ・令和2年度共同募金配分金助成事業の申請内容の 審査・決定、3年度の実施について協議
地域福祉活動 推進委員会	R3. 1. 29	書面評決	・令和2年度地域福祉事業功労者等の表彰対象者の 審査・決定

## 2 広報・啓発・賛助会員募集

事 項	時 期	内 容									
社協広報紙の発行	10・2月 (R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で6月号は発刊中止)	「みどりのふくし」の発行(第87号～第88号)									
ホームページの運営	通 年	緑区社協ホームページとブログを活用した、社協のPRと各種福祉関連情報の発信									
賛助会員の募集	通 年 (募集月間7～9月)	地域福祉推進協議会の協力により、区内の法人・団体及び個人への会員募集 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>個人</td> <td>5,070件</td> <td>5,824,300円</td> </tr> <tr> <td>法人・団体</td> <td>220件</td> <td>1,541,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5,290件</td> <td>7,365,300円</td> </tr> </table>	個人	5,070件	5,824,300円	法人・団体	220件	1,541,000円	合 計	5,290件	7,365,300円
個人	5,070件	5,824,300円									
法人・団体	220件	1,541,000円									
合 計	5,290件	7,365,300円									

## 3 地域福祉の推進

### (1) 地域福祉推進協議会への支援

#### ①研修会

事 項	時 期	開催場所	内 容
推進協研修会の開催	—	—	例年、「緑区地域福祉のつどい」を推進協研修会と位置付けて開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

#### ②財政支援(事業運営資金助成)

事 項	学 区	内 容
一般事業費助成	全28学区	一律105,000円の助成
ふれあい給食サービス事業助成	実施18学区 (鳴海、相原、旭出、滝ノ水、片平、浦里、緑、平子、東丘、太子、鳴子、長根台、戸笠、有松、大高、大高北、黒石、桃山)	参加予定者1人当たり年間1,500円の事業助成
賛助会費学区還元金	全28学区	前年度学区賛助会費実績に応じて還元

(2) ボランティア活動の推進

事 項		時 期	内 容
ボランティアセンターの運営		通 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの活動支援</li> <li>・ボランティア保険加入受付等件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動保険 2, 190人</li> <li>行事用保険 70件</li> </ul> </li> <li>・各種ニーズへの調整件数 23件</li> <li>・ボランティア活動希望相談 15件</li> <li>・ボランティア登録状況 (R3. 3. 31時点) <ul style="list-style-type: none"> <li>個人 157人</li> <li>団体 201グループ (5, 862人)</li> </ul> </li> </ul>
ボラネットみどりへの支援		通 年	<p>ボラネットみどりの事務局を担当し、総会、定例会、情報紙「かわら版」の発行等を支援</p> <p>※ボランティアフェスティバル、スキルアップ研修会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止</p> <p>※総会、定例会の一部は、書面にて実施</p>
名古屋みどり災害ボランティアネットワークとの連携		通 年	名古屋みどり災害ボランティアネットワーク定例会・行事等への支援と、防災講座等活动への助成
講座・研修会等	「令和2年度緑区地域福祉事業功労者等顕彰式典」の開催	R3. 3. 5	<p>会場：緑区在宅サービスセンター研修室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顕彰式 <ul style="list-style-type: none"> <li>緑区地域福祉事業功労者等の顕彰式として緑区において、長年にわたり地域福祉活動に取り組まれているボランティアの方々を顕彰し、その功績を称えるとともに、住民の地域福祉活動への参加意欲の高揚を目的として実施</li> <li>被顕彰者：個人 20人</li> <li>団体 なし</li> </ul> </li> </ul>
子育て支援	緑区子育て支援ネットワーク連絡会事業への協力	通 年	<p>緑区子育て支援ネットワーク連絡会及び同幹事会への参加及び事業への協力</p> <p>ネットワークとしては、交流事業、支援者向け講座・講演会、親子向け講座・講演会、子どもが育つ地域のつながりづくり事業を実施</p>
障がい児・者支援	緑区障害者地域自立支援協議会事業への協力	通 年	緑区障害者地域自立支援協議会及び拡大運営委員会への参加及び事業への協力

(3) 福祉教育の推進

事 項	時 期	内 容
学校等の福祉教育への協力	通 年	学校等が行う福祉体験教室等にボランティア講師や職員の派遣、調整、助言等を行った 令和2年度実績 延べ16件 (依頼件数：小学校11件、中学校5件)
福祉学習サポーターとの協働	通 年	名古屋市社会福祉協議会が養成した福祉学習サポーターとともに福祉教育事業の企画・運営を実施
福祉教育資材の貸出	通 年	高齢者疑似体験セット、点字器セット、アイマスクなどを学校等に対して無料貸し出し 利用件数 14件

(4) たまり場 (ふれあい・いきいきサロン) 活動の推進

事 項	時 期	内 容
たまり場講座&交流会の開催	なし	例年2月頃、たまり場実践者およびボランティア団体を講師に招き、サロン運営に役立つミニ講座を実施していたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため、開催を中止。コロナ禍でのサロン活動についてアンケートを実施し、サロン運営の参考にしてもらった
高齢者サロン等生活支援の推進	通 年	サロンの開設、運営費用の一部を助成する事業を実施 開設助成金交付件数 6件 運営助成金交付件数 上期(4～9月) 48件 下期(10～3月) 54件
たまり場マップの更新	—	なし
たまり場調査の実施	R2.1～R2.3	広く区民の方へ最新の情報を提供するため、区内のたまり場へ調査を行い、「緑区たまり場一覧」の情報を更新し、情報発信を実施

(5) 高齢者はつらつ長寿推進事業(名古屋市委託事業)の実施

会 場	第28期(4～9月)		第29期(10～3月)	
	実施回数	延べ参加者数	実施回数	延べ参加者数
平部町公民館(鳴海学区)	5回	80人	13回	264人
相原コミュニティセンター	5回	102人	13回	250人
旭出コミュニティセンター	5回	63人	13回	193人
滝ノ水小学校	5回	81人	13回	265人
鳴海住宅集会所(浦里学区)	5回	100人	13回	255人
緑コミュニティセンター	5回	80人	13回	174人
鳴海東部コミュニティセンター	5回	80人	11回	165人
熊の前コミュニティセンター	5回	76人	11回	208人

東丘コミュニティセンター	5回	71人	11回	171人
緑区在宅サービスセンター (鳴子学区)	6回	73人	14回	287人
古鳴海公会堂(長根台学区)	5回	97人	13回	225人
戸笠コミュニティセンター	5回	83人	12回	244人
有松コミュニティセンター	5回	60人	11回	158人
桶狭間公民館	4回	63人	13回	250人
大高地域コミュニティセンター	5回	40人	13回	190人
黒石コミュニティセンター	6回	93人	14回	242人
合 計	81回	1,242人	201回	3,541人

<内容>

○区内16か所の会場で、それぞれの参加者特性に応じ多様なプログラムを実施

グラウンドゴルフ、頭の体操(計算遊び、クイズ等)、健康体操(スクエアステップ、シナプソロジー、コグニサイズ)、創作体操(タオル体操等)、クイズ、室内ゲーム、ボッチャゲーム、講座(防災について、防犯について、いきいき支援センターの話、栄養、ヨガ、食育、保育園との交流、ゲーム作り、参加者企画など)、ミニ講座、音楽療法、ハンドベル  
創作活動(切り紙、折り紙、牛乳パック工作、干支の置物づくりなど)  
中止期間中のお便り配布(クイズ、レシピ、創作など)

○はつらつクラブ交流会

第28・29期交流会はコロナウイルス感染拡大の影響で中止

○有松保育園との交流(園児から参加者へ敬老の日の贈り物 R2.11)

(6) 緑福社会館の管理・運営

事 項	内 容			
緑福社会館の 管理・運営	◆会館入場者数	3,372人		
	◆実施事業			
	生活相談	実施回数	8回	延べ相談者数 8人
	教養趣味講座(年間8連続講座、各種単発講座)	実施回数	136回	延べ受講者数 1,510人
	認知症予防教室(年間)	実施回数	50回	延べ参加者数 264人
	認知症予防リーダー養成講座	実施回数	8回	延べ参加者数 55人
	認知症予防リーダースキルアップ講座	実施回数	2回	延べ参加者数 24人
	認知症予防リーダー高齢者サロン等派遣	実施回数	7回	延べ派遣人数 9人

(7) 地域支えあい事業（名古屋市地域力の再生による生活支援推進事業）

事 項	開催場所	開催回数	内 容
地域支えあい 活動連絡会議	在宅サービス センター研修 室（鳴子・長根 台学区）	1回	参加者15人 （区政協力委員会、民生委員児童委員協議会、 保健環境委員会、区役所、保健センター、ボラ ンティア、いきいき支援センター、社協）  ・令和2年度事業報告 ・今年度の土曜サロン鳴子の取り組み ・今後の課題 など
	戸笠コミセン	2回	参加者16人 （区政協力委員会、民生委員児童委員協議会、 保健センター、ボランティア、いきいき支援セ ンター、社協）  ・令和元年度事業報告 ・今年度のカフェ戸笠の取り組み ・コロナ禍における活動の工夫、検討 ・今後の課題 など （1度は書面にて実施）
	平子コミセン	9回	参加者34人 （区政協力委員会、民生委員児童委員協議会、 ボランティア、南部いきいき支援センター、社 協）  ・令和2年度事業報告 ・今年度の活動について ・今後の課題 など
	黒石コミセン	10回	参加者9人 （区政協力委員会、ボランティア、社協）  ・今月の活動報告 ・活動の周知について など
鳴子学区・長 根台学区相談 窓口 土曜サロン鳴 子（サロン付 きボランティ アセンター）	なるこ集会所	H26.10～	○毎週土曜日（毎月の最終週は休み） 9時30分～11時30分  ・コーヒー（お菓子つき50円）を飲みながら 交流し、困り事相談を受けてボランティアの できる範囲で解決する。解決が難しい相談は 地域の組織などと連携し、困り事相談の解決 を図る。  ◆相談・ニード内容 ・新聞紙の回収、外出支援、話し相手、小修繕、 買物支援など

事 項	開催場所	開催日	内容
戸笠学区 カフェ戸笠 (サロン付き ボランティア センター)	戸笠コミセン	H26. 10～	○毎月2回水曜日  ・コーヒーを飲みながら交流し、困り事相談を受けてボランティアのできる範囲で解決する。解決が難しい相談は地域の組織などと連携し、困り事相談の解決を図る。 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、会場付近の散策などを実施  ◆相談・ニード内容 ・不用品処分のお手伝い、家具の小修繕、側溝掃除、ゴミ出しなど
平子学区 地域支えあい 相談窓口	平子コミセン	H28. 12～	○毎週火曜日～土曜日 13時～16時(コミセン開館日による)  ・コミセン事務室にて相談窓口を開設。困り事相談を受けてボランティアのできる範囲で解決する。解決が難しい相談は地域の組織などと連携し、困り事相談の解決を図る  ◆相談・ニード内容 ・庭木の剪定、ゴミ出し、ごみ屋敷の片付け、関係機関への橋渡しなど
黒石学区 地域支えあい 相談窓口	黒石コミセン	H31. 3～	○毎週月曜日～土曜日 9時半～12時半 13時半～17時 ・コミセン事務室にて相談窓口を開設。困り事相談を受けてボランティアのできる範囲で解決する。解決が難しい相談は地域の組織などと連携し、困り事相談の解決を図る  ◆相談・ニード内容 ・庭木の剪定、外出支援、関係機関への橋渡しなど
ご近所ボラン ティアコーデ ィネーター交 流会	緑区在宅サー ビスセンター 内	R3. 3. 26 午後2時～ 午後3時30分	・新型コロナウイルス感染のリスクを避けるため、緑区在宅サービスセンター内の4つの部屋に各学区毎に分かれて入室し、「Zoom」の機能を使ったパソコン画面上での地域支えあい事業活動内容を共有 ・対象学区：鳴子・長根台・戸笠・平子・黒石 ・参加人数：12名
地域支えあい 事業感謝状 贈呈式		R3. 3. 26 午後3時30分～ 午後4時	・名古屋市社会福祉協議会「地域支えあい事業」感謝要領に基づき、事業を実施した期間が5年度以上にわたる団体への感謝状贈呈式の開催 ・対象学区：鳴子・長根台・戸笠

## (8) その他

事 項	時 期	内 容
寝具クリーニングサービス事業	10～12月	区内70歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象とした寝具クリーニングサービスの実施 利用者数 442人
緑区障害者と区民のつどい事務局	—	緑区区民まつり中止に伴い、未実施
車いす貸出	通 年	短期間の車いす無料貸出 利用件数 141件
車いすリフト付乗用車貸出	通 年	車いすのまま乗り降りができる乗用車の無料貸出 利用件数 36件
ビデオ・フィルムライブラリー設置	通 年	ボランティアや在宅介護の方法等、福祉に関するビデオを地域・団体等へ無料で貸出
音訳事業	通 年	広報なごや緑区版の音訳版を作成し、希望者に配布 協力 音訳ボランティアみどり
点訳事業	通 年	広報なごや緑区版の点訳版を作成し、希望者に配布 協力 点訳ポチの会

## 4 助成事業

## (1) 赤い羽根共同募金配分金助成事業 (団体 1, 387, 000円)

分 野	助成団体数	助 成 先
地域福祉一般	10団体	緑区更生保護女性会、緑保護区保護司会、ボラネットみどり、名古屋みどり災害ボランティアネットワーク、家具転倒防止ボラ緑、徳重学区地域福祉推進協議会、大将ヶ根ざわざわ森クラブ、みどり多文化共生ボラネット、緑アレルギーの会、緑学区地域福祉推進協議会
高齢者福祉	2団体	緑区老人クラブ連合会、緑鯉城会
児童青少年福祉	8団体	緑区地域子ども会育成連絡協議会、子どもが育つ地域のつながりづくり事業実行委員会、みどり子育て応援団、おはなしの会てんとう虫、すくすく、NPO法人おひさま保育園、自主保育グループあおぞら、サンシャインクラブ
障害者福祉	4団体	緑区手をつなぐ育成会、NPO法人風の会、ワークセンターメイプル、たんぽぽ作業所ミドリ

(2) 「ははの箱」助成事業 (助成金額合計 1,335,198円)

助成団体数	助 成 先
20 団体	手話サークルたんぼぼ、点訳ポチの会、みどりおもちゃ図書館、おひさま保育園、みどり子育て応援団、NPO 法人かたひらかたろう、緑鯨城会、コキオ・ケオケオ・ナニ・アロハ、社会福祉法人中央有鄰学院乳児院ほだか、緑学区ボランティア光風、名和会 (旧絆会)、緑区福祉増進ふれあい協議会たちばなボランティア、みなみ福祉座、パソコンボランティア緑、おはなしの会てんとう虫、すくすく、りさ Park、社会福祉法人みその児童福祉会鳴海聖園天使園、シニアクラブ緑寿会、自主保育グループあおぞら

(3) その他の助成事業

対 象 団 体	主 な 福 祉 事 業
各学区区政協力委員会等	学区敬老関連事業 学区における広報活動
名古屋市民生委員児童委員連盟緑区支部	民生委員児童委員の地域福祉活動事業

5 貸付事業・援護事業

事 項	時 期	内 容	協力団体等
生活福祉資金貸付事業	通 年	愛知県社会福祉協議会による低所得者世帯、高齢者世帯等への生活資金等の貸付事業の相談業務 相談件数 347件 貸付決定件数 14件 (内訳) 総合支援資金 0件 福祉資金 9件 緊急小口資金 0件 教育支援資金 5件 臨時特例つなぎ資金 0件 不動産担保型生活資金 0件	名古屋市民生委員児童委員連盟緑区支部
	通 年	新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業などにより生計の維持が困難となった世帯向けへの特例貸付を実施 相談件数 6,180件 貸付決定件数 2,056件 (内訳) 緊急小口資金 1,412件 総合支援資金 644件	
名古屋市緊急小口資金貸付事業償還業務	通 年	令和2年度中の償還完了件数 0件 名古屋市社会福祉協議会による処理 (不能欠損処分) 件数 0件 次年度繰越未償還件数 3件	
緊急援護事業	通 年	要援護者への旅費・食事費等の貸付及び支給件数 121件	区役所区民福祉部

## 6 寄付金品の受入れ（寄付金額合計 2,697,293円）

区分	寄付者名（敬称略）
個人	森要、岡田雅美、古賀加寿代、櫻井淳、松本次雄、匿名6人
団体	緑鯉城会、緑区地域女性団体連絡協議会、チーム「みどりっち」、緑高校生徒会、戸笠不老クラブ、緑区歯科医師会、緑信用農業協同組合女性部、緑区保健環境委員会、匿名3件
法人	鳴子幼稚園、ワールドビジネス（株）、明治安田生命名古屋南支社、十六銀行、（株）山十、ユニー（株）ピアゴ清水山店、ユニー（株）アピタ緑店、ユニー（株）アピタ鳴海店、ユニー（株）ピアゴラフーズコア徳重店

## 7 災害への取組み（区役所・みどり災害ボランティアネットワークとの協働）

事項	時期	開催場所	内容
災害ボランティアセンター開設・運営訓練	R2.5.9 →中止	ユメリア徳重	災害発生を想定した災害ボランティアセンターの開設・運営訓練 午前 災害ボランティアセンター開設訓練 午後 災害ボランティア（一般区民）受け入れ運営訓練
総合水防訓練	R2.5.31 →中止	鳴子小学校	災害ボランティアセンターの啓発、防災グッズ展示
宿泊型防災訓練	R2.6.20 ～6.21 →中止	熊の前小学校	災害ボランティアセンターの啓発、防災グッズ展示、救護班要援護者支援訓練
総合防災訓練	R2.9.6 →中止	片平小学校	災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営訓練、要配慮者支援訓練、物資仕分け・配給訓練、防災用品の展示・説明
緑区防災フェスタ	R2.11.7 →中止	緑区役所講堂ほか	災害ボランティアセンターの啓発、災害ボランティア活動用資機材の紹介、災害時に役立つ防災グッズ紹介、車いす乗車・誘導体験

## 8 緑区在宅サービスセンターの運営

事項	内容
研修室等の貸出	区内で活動するボランティア・地域団体などへ研修室などを貸出 延べ利用団体数：178団体 延べ利用者数：1,881人 （利用団体数・利用者数には印刷機のための利用の数も含む） ※緊急事態宣言を受け、令和2年4月13日～5月29日・令和3年1月18日～2月5日の期間は貸し出しを中止。上記以外の6月以降の期間は定員を半分に定めて貸し出しを実施。

## 9 介護保険事業等への協力（社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会の事業）

事項	内容
居宅介護支援事業	介護保険における在宅サービスの利用にあたっての介護サービス計画（ケアプラン）の作成等 令和2年度実績：2,919件

なごやかヘルプ事業	要援護高齢者や障がい者等に対するホームヘルパーの派遣等		
	令和2年度実績	2,989件	28,828時間
	(内訳) 介護保険	2,010件	17,057時間
	総合支援法等	979件	11,771時間

## 10 緑区北部いきいき支援センターへの協力（社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会の事業）

事 項	内 容						
介護予防の推進	<p>介護予防給付利用者に対する介護予防サービスの調整等            (福祉用具、通所リハビリ、訪問看護、短期施設入所等を含む利用者)            令和2年度実績： 9,158件 (直営：1,923件 委託：7,235件)</p> <p>第1号介護予防給付利用者に対する介護予防サービスの調整等            (訪問介護、通所介護、配食サービスのみの利用者)            令和2年度実績： 6,245件 (直営：1,906件 委託：4,339件)</p>						
高齢者見守り支援事業の実施	<p>孤立しがちな高齢者に対して地域におけるネットワークの構築支援や関係機関との連絡調整を実施。 ネットワーク構築件数：26件</p> <p>対象者の安否確認や不安感・孤立感の解消、生活課題の発見を行うための電話相談（いきいきコール）の実施。 対象者数：11人 実施回数：延べ655回</p>						
認知症初期集中支援チームによる支援	<p>医療機関への受診や介護サービスの利用ができていない認知症の方を対象に医療へのつなぎやサービス利用調整を行うほか、介護家族への助言などを行う。            令和2年度実績：支援対象者数21名、支援終了者数14名</p>						
「地域包括ケア推進会議」の開催	<p>緑区内における高齢者の保健・医療・福祉に関する団体が連携を図り高齢者支援について協議する会議を緑区役所、徳重支所、緑保健センター、緑区南部いきいき支援センターと共同で開催。3部会体制の中では、認知症専門部会を担当し他の部会へも参加協力した。</p> <p>委員構成：緑区医師会、緑区歯科医師会、緑区薬剤師会、県柔道整復師会、民生委員児童委員連盟緑区支部、緑区老人クラブ連合会、指定居宅介護支援事業者、介護保険事業者、NPO法人、ボランティア、緑区役所、緑保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター（計20名）</p>						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2.7.2</td> <td>令和元年度事業報告、地域包括ケアの推進会議の取り組み・令和2年度推進体制・事業計画・予算について、各部会等の進捗状況について</td> </tr> <tr> <td>R3.2.22</td> <td>令和2年度 事業報告・決算について、令和3年度 推進体制(案)について、専門部会設置要綱の改正(案)について、令和3年度 事業計画・予算(案)について</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内 容	R2.7.2	令和元年度事業報告、地域包括ケアの推進会議の取り組み・令和2年度推進体制・事業計画・予算について、各部会等の進捗状況について	R3.2.22	令和2年度 事業報告・決算について、令和3年度 推進体制(案)について、専門部会設置要綱の改正(案)について、令和3年度 事業計画・予算(案)について
	開催日	内 容					
	R2.7.2	令和元年度事業報告、地域包括ケアの推進会議の取り組み・令和2年度推進体制・事業計画・予算について、各部会等の進捗状況について					
R3.2.22	令和2年度 事業報告・決算について、令和3年度 推進体制(案)について、専門部会設置要綱の改正(案)について、令和3年度 事業計画・予算(案)について						
<p>※ 地域包括ケア推進会議の部会： 地域支援ネットワーク部会            在宅医療・介護連携部会            認知症専門部会</p>							

事 項	内 容										
「地域包括ケア 推進会議 認知 症専門部会」の活 動	<p>認知症の人が地域で安心して暮らすための取り組み等を協議する部会。緑区南部いきいき支援センターと共同で開催した。</p> <p>委員構成：緑区医師会、民生委員児童委員連盟緑区支部、県柔道整復師会、指定居宅介護支援事業者、介護保険事業者、NPO 法人、認知症の方の家族、認知症サポーター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター、緑福祉会館 (計 13 名)</p>										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="448 456 619 495">開催日</th> <th data-bbox="619 456 1378 495">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 495 619 685">R2. 6. 18</td> <td data-bbox="619 495 1378 685">部会長の選定について、認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症家族教室の事業実施報告について、第 1 回緑区地域包括ケア推進会議 提出資料 (案) について 等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 685 619 815">R2. 8. 26</td> <td data-bbox="619 685 1378 815">認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症専門部会の事業について 等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 815 619 969">R2. 11. 26</td> <td data-bbox="619 815 1378 969">認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症ってなあに?2020 実施報告について 等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 969 619 1124">R3. 1. 26</td> <td data-bbox="619 969 1378 1124">認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、令和 2 年度事業報告 (案) について、令和 3 年度事業計画 (案) について 等</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内 容	R2. 6. 18	部会長の選定について、認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症家族教室の事業実施報告について、第 1 回緑区地域包括ケア推進会議 提出資料 (案) について 等	R2. 8. 26	認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症専門部会の事業について 等	R2. 11. 26	認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症ってなあに?2020 実施報告について 等	R3. 1. 26	認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、令和 2 年度事業報告 (案) について、令和 3 年度事業計画 (案) について 等
	開催日	内 容									
	R2. 6. 18	部会長の選定について、認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症家族教室の事業実施報告について、第 1 回緑区地域包括ケア推進会議 提出資料 (案) について 等									
	R2. 8. 26	認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症専門部会の事業について 等									
	R2. 11. 26	認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店の進捗状況について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、認知症ってなあに?2020 実施報告について 等									
R3. 1. 26	認知症ケアパスについて、認知症の方にやさしい店について、認知症カフェについて、認知症初期集中支援チームの活動について、令和 2 年度事業報告 (案) について、令和 3 年度事業計画 (案) について 等										
<p>&lt;認知症啓発イベント「認知症ってなあに?2020」&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来の講演会の開催ではなく、商業施設でのパネル展示、資料配布に変更した。</p> <p>1、日 時 令和 2 年 11 月 18 日</p> <p>2、会 場 ヒルズウォーク徳重ガーデンズ ヒルズコート</p> <p>3、内 容 ①認知症に関するパネル展示及びクイズコーナー ②認知症カフェに関するパネル展示及び紹介コーナー ③はいかみ高齢者おかえり支援事業のパネル紹介 ④出張いきいき相談室コーナー ⑤パンフレット等の配架</p> <p>4、来場者 154 名</p> <p>&lt;ひとり歩き (はいかみ) 高齢者おかえり支援事業模擬訓練&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来の訓練の開催ではなく、認知症ってなあに?2020 において事業のパネル展示、資料配布に変更した。</p> <p>&lt;劇団オレンジリング&gt;</p> <p>1、内 容：平成 25 年に発足させた寸劇を用いて認知症の啓発を行う「劇団オレンジリング」の活動支援</p> <p>2、公 演：新型コロナウイルス感染症の影響により、公演は行わなかった。</p> <p>3、劇団員：10 名</p>											

事 項	内 容
「地域包括ケア 推進会議 認知 症専門部会」の活 動	<p>&lt;専門職向け研修会&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、日 時 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、資料配布による開催に変更した。</li> <li>2、内 容 講義『運動を行うことでの認知症予防効果』 講師：竹内 三保子 氏（認知症介護実践リーダー研修修了者）</li> </ol> <p>&lt;認知症ケアパス概要版の改訂と社会資源版の作成&gt;</p> <p>認知症専門部会での会議において、認知症ケアパスの修正・作成や配布先についての議論の場を持ち、その結果を受け、ケアパス社会資源版を更新し、より多くの方が認知症についての理解を深めてもらえるようにした。</p> <p>作成部数 概要版5,000部、社会資源版7,000部</p> <p>&lt;認知症の方にやさしい店の啓発&gt;</p> <p>認知症地域専門員が直接店舗等に出向いてやさしい店の制度説明を行うとともに、登録への勧奨を行った。また、地域包括ケア認知症専門部会のホームページに情報を掲載したり、イベント等で紹介パネルを使用して周知を行うなど、幅広い人に取組みを知ってもらうよう努め、北部圏域は62か所の登録となった。</p> <p>令和3年3月末現在 北部圏域62店 南部圏域86店 合計148店</p> <p>&lt;介護予防推進検討会への参加&gt;</p> <p>緑保健センターが中心となり、緑区役所・区社会福祉協議会・南北いきいき支援センターの職員が、以下の内容で年間6回の会議に参加した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、健康づくり・介護予防と生活支援の推進に向けた取り組みの実践 <ol style="list-style-type: none"> <li>①介護予防リーフレット「集わなくてもできる介護予防」（4,000部） 「きらきら発見だより」（3,000部）の作成と発行</li> <li>②「きらきらマン体操」のDVD作成と貸出、手ぬぐい配布による普及啓発</li> </ol> </li> <li>2、地域分析の結果を地域に還元するための実践 <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域状況の見える化をはかる「情報基本シート」の作成</li> <li>②モデル学区を選定し（鳴海東部学区・南陵学区）、「情報交換会」にて地域情報と課題を共有</li> <li>③事業実績、地域情報等の経年的データの蓄積と地域分析</li> </ol> </li> </ol> <p>&lt;緑区介護フェアの開催支援&gt;</p> <p>従前、広く区民に対して福祉や介護サービス等の啓発を行うため、緑区介護事業所連絡会の企画する緑区介護フェアの開催を支援していたが、令和2年度は緑区介護事業所連絡会のすべての事業が中止になったため、緑区介護フェアは開催されなかった。</p>

事 項	内 容						
<p>「地域包括ケア推進会議 認知症専門部会」の活動</p>	<p>&lt;認知症カフェの拡充&gt;</p> <p>① 緑区認知症カフェ 北部圏域8か所（緑区全体では21か所）</p> <p>② 運営者連絡会 3回 新型コロナウイルス感染症対策を取ってカフェを実施した運営者における対策方法や、各カフェの今後の見通し等について情報共有を行った。</p> <p>③ 認知症カフェの啓発 令和2年11月18日に開催した「認知症ってなあに？2020」において認知症カフェに関するパネルの展示及び動画紹介コーナーの設置を行った。</p> <p>④ 認知症カフェ交流会・研修会 1、日 時 令和3年3月3日 2、会 場 徳重地区会館体育室 3、内 容 ①交流会 ②研修会 講師：武地 一 氏（藤田医科大学教授） 4、参加者 24名</p> <p>⑤ 認知症カフェ再開に向けた支援 ○内 容 フェイスシールド、不織布マスク、消毒用エタノール、ディスポーザブル手袋の配布</p>						
<p>「地域包括ケア推進会議 地域支援ネットワーク部会」の活動</p>	<p>高齢者の孤立を生まない地域社会づくりを目指し、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の中のネットワークづくりについて協議することを目的とした部会。</p> <p>委員構成：民生委員児童委員連盟緑区支部、緑区老人クラブ連合会、指定居宅介護支援事業所、介護保険事業所、ボランティア団体、緑区役所、緑区区政協力委員協議会、緑区保健環境委員会、緑警察署、緑消防署、名古屋市新聞販売店見守り協力店、名古屋市住宅供給公社南部事務所、緑区社会福祉協議会</p> <table border="1" data-bbox="448 1240 1391 1514"> <thead> <tr> <th data-bbox="448 1240 628 1283">開催日</th> <th data-bbox="628 1240 1391 1283">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 1283 628 1397">R2. 6. 8</td> <td data-bbox="628 1283 1391 1397">令和2年度部会事業計画について、あんしんカードの配布について、区民向け講演会について、各分野からの課題・情報提供などの意見交換</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1397 628 1514">R2. 8. 26</td> <td data-bbox="628 1397 1391 1514">区民向け講演会について、情報発信ツール（孤立防止・地域の見守りに関するパンフレット）の検討、令和2年度緑区地域包括ケア推進会議の取組（案）（4月から9月まで）</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈緑区あんしんカードの配布について〉 令和2年度 配布学区 滝ノ水学区・平子学区・大清水学区・東丘学区・戸笠学区・有松学区・大高南学区・大高北学区・桃山学区</p> <p>〈区民向け講演会〉⇒新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止 1、日時：令和2年11月29日 2、会場：徳重地区会館 3、参加人数：100～200人 4、内容：〔第1部〕講演会 講師：斉藤 雅茂 日本福祉大学准教授 テーマ：あたたかく見守り・お互い様の気持ちで支える地域づくり</p>	開催日	内容	R2. 6. 8	令和2年度部会事業計画について、あんしんカードの配布について、区民向け講演会について、各分野からの課題・情報提供などの意見交換	R2. 8. 26	区民向け講演会について、情報発信ツール（孤立防止・地域の見守りに関するパンフレット）の検討、令和2年度緑区地域包括ケア推進会議の取組（案）（4月から9月まで）
開催日	内容						
R2. 6. 8	令和2年度部会事業計画について、あんしんカードの配布について、区民向け講演会について、各分野からの課題・情報提供などの意見交換						
R2. 8. 26	区民向け講演会について、情報発信ツール（孤立防止・地域の見守りに関するパンフレット）の検討、令和2年度緑区地域包括ケア推進会議の取組（案）（4月から9月まで）						

	<p>〔第2部〕個人活動で見守りをしている方の報告  ※講義内容のDVDを作成し、地域で視聴してもらえるように変更する。  DVD作成枚数：各学区へ1枚ずつ配布（28枚）  区役所等で貸出し用（7枚）  広報：民生委員児童委員協議会会長連絡会、区政協力委員協議会、老人クラブ連合会などチラシにより周知。  広報なごやに区民への貸出し記事を掲載する。</p> <p>〈孤立防止・地域見守りなどに関するパンフレットについて〉  生活支援連絡会と共同で[生活支援ガイドブック]作成。  R3年までに2000部作製。  パンフレットの内容  ① 見守られる方の視点  ② 見守る側の視点  ③ 通報について  ④ 相談先について</p>
「認知症の人の家族教室」の開催	従前、認知症の人を介護している家族向けに、認知症に関する知識・介護方法などの講話、介護経験者との交流会などを行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、すべての回で中止した。
「認知症の人の家族サロン」の開催	認知症の人を介護している家族の方が集まり、日頃の介護の悩みや不安を話し合う交流会を開催した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から分室での開催及び拡大版の開催を見送った。 開催回数 本センター5回 参加者数 のべ34名
「もの忘れ相談医の専門相談」の実施	認知症の症状や治療について、専門医による個別相談を、本センターと分室で交互に実施した。相談後もフォローし、介護サービス利用等の相談支援を行った。 1、開催回数：本センター3回、分室4回 2、相談者数：本センター7名、分室11名
「認知症サポーター養成講座」の開催及び認知症サポーターのフォローアップ	<認知症サポーター養成講座の開催> 認知症についての正しい知識と対応を学び、認知症の方やその家族の応援者となってもらうための認知症サポーター養成講座を開催した。本センターもしくは分室での定期開催のほか、可能な限り出張講座にも対応した。 開催回数 12回 参加者数 103名  <認知症サポーターフォローアップ研修> 認知症サポーターに対し、フォローアップ研修を開催した。また、サポーターのつどいは新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。 1、日 時 令和3年3月12日 2、会 場 徳重地区会館 体育室 3、参加者 59名 4、内 容 上映会「人生をしまう時間（とき）」

事 項	内 容
介護支援専門員に対する支援	<p>&lt;緑区居宅介護支援事業所連絡会・研修会の開催&gt;          緑区内の介護支援専門員のスキルアップやネットワークづくりのための連絡会・研修会を、南部いきいき支援センターと共同で、区福祉課、徳重支所区民福祉課、緑保健センターの協力を得て実施した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、オンラインによる研修も開催した。</p> <p>【北部担当分】 4回（うち1回は合同）</p> <p>◆令和2年7月30日 「ミニデイ型・運動型通所サービス事業所とケアマネジャーの情報交換会」（参加者数：9名※ケアマネジャーのみ）</p> <p>◆令和2年10月27日 「居住支援活動について知ろう」（参加者数：会場22名、オンライン20名）</p> <p>◆令和2年11月27日 「介護予防プラン作成勉強会」（参加者数：18名）          &lt;南北合同&gt;</p> <p>◆令和3年1月18日 「ポジティブシンキングでコロナ時代を乗り越えよう!」（参加者数：47名）</p> <p>また、南部担当で4回開催（うち1回は合同）し、南北合わせて7回開催した。</p> <p>&lt;医療相談支援事業&gt;          地域のケアマネジャーを対象に、日頃関わりの多い疾病に対する医療的な知識について緑区医師会派遣の医師から講義を受けたり事例検討会を行った。また、個別の質問相談にも対応した。</p> <p>北部での開催回数：3回、参加者数：延べ48名          また、南部担当で2回開催し、南北合わせて5回開催した。</p>
民生委員と介護支援専門員との交流会の開催	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各学区での会議の一部時間をいただいて開催する形に変更し、令和3年度末までに回る予定である。学区の民生委員児童委員とその学区にお住まいの利用者を担当する介護支援専門員とが、お互いの役割や連携・情報共有の在り方についての話し合いを行った。</p> <p>◆日時・開催学区・参加者数(民生委員/介護支援専門員)</p> <p>①令和3年3月9日 鳴子学区 (14名/3名)</p> <p>②令和3年3月13日 長根台学区 (14名/2名)</p>
緑区介護事業所連絡会の支援	<p>緑区介護事業所連絡会の幹事会、役員会の会場を提供し、会議に出席した。連絡会としては令和2年度はすべての事業について中止を決定し、定期総会、研修会や介護フェアは行われなかった。</p>
情報提供のための冊子等の作成やインターネットの活用	<p>【新しく作成、全面更新により発行した冊子等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービス・デイケア一覧</li> <li>・区民向け情報紙『かえで』（年2回発行）</li> <li>・ケアマネジャー向け広報紙『グリーングリーン』（年4回発行。2回ずつ南部いきいき支援センターと分担して作成。）</li> <li>・認知症ケアパス『概要版』、『社会資源版』</li> </ul> <p>【変更情報が入った際に、都度反映しながら増刷対応している冊子等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『緑区入所施設一覧』</li> <li>・『自費ベッド一覧』</li> <li>・『家事代行サービス事業所一覧』</li> <li>・『配食サービス事業者一覧』</li> <li>・『介護タクシー一覧』</li> <li>・『訪問理美容一覧』</li> <li>・『ミニデイ型・運動型通所サービス事業MAP』</li> </ul> <p>【インターネットの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSサービス「フェイスブック」を活用し、行事や取り組み等を発信した。</li> </ul>

事 項	内 容
介護予防事業の 推進及び周知	<p>&lt;緑区内北部圏域の医療機関に対する介護予防事業のPR件数&gt; 訪問 31件、電話・郵送等対応 3件</p> <p>&lt;ココロとカラダを健康に！サロン・ド・カンテッテ&gt; 介護予防への関心を高めてもらい、サロン化などの自主的な取組みを促すため、鳴子学区にある団地において「サロン・ド・カンテッテ」を開催した。 従前、毎月1回開催していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の回の開催を見送った。 開催回数 3回 参加者数 のべ19名</p> <p>&lt;ミニデイ型・運動型通所サービス事業所連絡会&gt; 緑区内のミニデイ型・運動型通所サービス事業所と居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象に、講師の独自調査である、通所系サービスの2週間に渡る休業要請期間及び要請解除後の利用者の身体及び認知機能への影響についてご講義いただいた。</p> <p>1、日 時 令和2年7月30日 2、内 容 講義 『デイサービス休業による、利用者の身体機能及び認知機能への影響』 講師 水野 勝仁 氏 (居宅介護支援事業所でんじやまケアマネジャー)</p> <p>3、会 場 緑区在宅サービスセンター 研修室 4、参加者数 サービス事業所2か所2名、ケアマネジャー9名、計11名</p> <p>&lt;介護予防運動教室&gt; 運動をメインとした介護予防教室を3会場、計4回実施し、のべ36名の参加があった(予定では4会場、計6回であったが、うち2回は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した)。</p> <p>◆日時・会場・参加者数 ○9月29日 緑区在宅サービスセンター 中止 ①10月30日 黒石コミュニティセンター 9名 ②11月18日 全並新聞店(片平) 7名 ③12月2日 サンヴィラ野並 12名 ④1月20日 全並新聞店(片平) 8名 ○2月18日 緑区在宅サービスセンター 中止</p>
福祉講座「知って トクする老後の 暮らし」の開催	<p>「知ってトクする老後の暮らし」として地域住民に役立つ情報を提供するとともに、いきいき支援センター事業を周知するための福祉講座を開催した。</p> <p>◆日時・内容・参加者数・会場 ○5月28日 「遺言書の書き方と遺産相続」 中止 講師：山下 陽子 氏(弁護士) ①7月12日 「ライフプランセミナー」 21名 講師：東海労働金庫 ②9月17日 「失敗しない墓じまい」、「ハスワーク」 18名 講師：山田 信子 氏(終活カウンセラー) 場所はいずれも緑区在宅サービスセンター</p>

1.1 赤い羽根共同募金運動への協力（名古屋市緑区共同募金委員会の事業）

区 分		金 額
一般募金	戸別募金	8,019,590円
	法人募金	970,890円
	職域募金	141,542円
	学校募金	770,587円
	街頭募金	0円
	その他	349,713円
	計	10,252,322円
歳末たすけあい募金		104,984円
合 計		10,357,306円